

## 最新 家電事情

# iPod 的ライフスタイル

酒井 寿紀

### **iPod, 1 億台を突破!**

今年4月,アップルは iPod の販売台数が全世界で 1 億台を超えたと発表した。2001 年 11 月の発売以来順調に販売台数を伸ばし,一時は米国で 90%以上のシェアを占めていたという。この大成功の秘密はどこにあるのだろうか? そして,今後は? 最近の iPod は写真や動画なども扱うようになったが,ここでは音楽を聴く機能を中心にみてみよう。

### **二つの製品と一つのサービスで構成**

iPod と一口にいても,これを使う人は,独立した二つの製品と一つのサービスが使われている。

まずハードウェア製品の携帯音楽プレーヤー「iPod」がある。4GBのフラッシュ・メモリの製品で約 1,000 曲入れておくことができる。運動中とか,通勤中とか,リラックスしたいときに聴きたい曲を,それぞれ「プレイリスト」に登録しておけば,その場にふさわしい曲をいつでも聴くことができる。

iPod は,ボタン類が極めて少なく操作が簡単である。また,極めて小型軽量で,「アームバンド」を買えばパンツ 1 枚でジョギングする時も腕につけておくことができる。フラッシュ・メモリを使ったものは衝撃に強く,激しい運動をしても音飛びの心配がない。また,居間のステレオや専用スピーカーに接続すれば,大音量で音楽を聴くこともできる。最近のクルマにはカーステレオに iPod が接続できるものも多い。

次に,「iTunes Store」という音楽配信サービスがある。日本では著作権の問

題でサービス開始が遅れたが,現在は,ポップ,歌謡曲からクラシックまで 200 万曲が配信されている。1 曲の値段は 150 円か 200 円だ。米国では 350 万曲が 0.99 ドル均一で配信されている。それに比べれば日本では多少見劣りがするが,それでもほかの音楽配信に比べれば安さと曲の多さが魅力だ。

そして,「iTunes」という無料のパソコン・ソフトがある。これを使うことにより,音楽を「iTunes Store」で買ったり,CD から読み込んだりすることができる。そして,それを整理して,選曲リストを作ることができる。また,曲を iPod に書き込んだり,CD に焼き付けたり,パソコンで聴いたりすることもできる。最近では音楽だけでなく映像なども扱えるようになった。つまり,家庭内の AV コンテンツの交通整理の中核となるものだ。

### **音楽のライフスタイルに革命**

現在は,一部の例外を別にすれば,アップルが提供する上記の製品とサービスを組み合わせないと iPod は使えない。この組み合わせで,iPod は音楽を聴くライフスタイルに革命をもたらした。CD などの媒体を買う代わりに,インターネットから曲をダウンロードし,媒体を棚に並べておく代わりにパソコンのファイルに蓄えておく。そして,いつでも,どこでも,好きな曲を聴くことができる。

アップルによる実質的独占の状態がいつまで続くかわからないが,iPod がもたらした音楽革命が後戻りすることはないだろう。

(酒井 IT ビジネス研究所)